

- 問1 国風文化の特色の一つとして、日本人の感情を細やかに表現できるようになったことが挙げられます。この背景にある、文字の成立に関する説明として最も適切なものを選んでください。 (2023年 宮城県公立入試 類似)
1. 朝鮮半島から伝わった「ハングル」をもとに、日本語の音に合わせた文字が作られた。
2. 仏教の経典を正確に写経するために、サンスクリット語をもとにした文字が使われた。
3. 漢字をくずしたり、その一部をとったりして作られた「かな文字」が普及した。
4. キリスト教の布教とともに伝わったローマ字が、貴族の間で急速に広まった。
- 問2 平安時代に藤原氏が行った「摂関政治」と呼ばれる政治体制の仕組みについて、最も適切に説明しているものはどれか。 (2016年 千葉県公立入試 類似)
1. 地方の有力な農民に土地の私有を認め、その見返りとして徴収した多額の税を背景に、経済力で天皇を圧倒した。
2. 仏教の教えを政治の根本に据え、大規模な寺院を建立して人心を掌握することで、天皇に代わって国政を担った。
3. 自分の娘を天皇のきさきとし、その間に生まれた子が天皇になった際に、母方の親戚（外戚）として政治の実権を握った。
4. 優れた武士団を組織して他の有力貴族を武力で排除し、軍事的な優位性を背景にして政治の重要ポストを独占した。
- 問3 平安時代の終わりに、源氏との激しい争いを繰り広げた氏族について述べたものです。壇ノ浦の戦いで滅亡し、その過程で行われた南都焼き討ちが、後に鎌倉時代における東大寺再建の直接的な要因ともなった、この氏族は何ですか。 (2017年 北海道公立入試 類似)
1. 蘇我氏
2. 藤原氏
3. 北条氏
4. 平氏
- 問4 平安時代中期に藤原道長が摂政に就任したことで全盛期を迎えた、藤原氏が天皇の代理や補佐として実権を握る政治形態を何といいますか。 (2017年 沖縄県公立入試 類似)
1. 親政
2. 摂関政治
3. 幕府政治
4. 院政
- 問5 平安時代中期、社会への不安や「仏教の教えが正しく伝わらなくなる時期が来る」という末法思想が広まるなかで、阿弥陀如来にすがって「南無阿弥陀仏」と唱えることにより、死後に苦しみのない世界へ生まれ変わりを願う信仰が流行しました。この信仰の名称として正しいものを、次の選択肢から選びなさい。 (2022年 新潟県公立入試 類似)
1. 空海が中国から伝え、山の中での修行を重視した真言宗
2. 聖武天皇の時代に国家の平穩を祈って各地に建立された国分寺の信仰
3. 阿弥陀如来の力によって極楽浄土への往生を願う浄土信仰
4. 厳しい修行や座禅を通じて自らの力で悟りを開こうとする禅宗
- 問6 平安時代末期、白河上皇の邸宅跡からは当時の高度な文化を示す青磁などが発掘されています。このように、天皇が位を譲った後も「上皇」として自らの居所で政治の実権を握り、天皇に代わって政治を執り行う形態を何と呼びますか。 (2024年 栃木県公立入試 類似)
1. 摂関政治
2. 院政
3. 合議制
4. 武家政治
- 問7 7世紀後半から12世紀にかけて、日本の政治体制は天皇中心の統治から貴族、そして上皇による統治へと変遷しました。この期間に起こった以下の4つの出来事を、年代の古い順に正しく並べたものはどれですか。 (2017年 愛媛県公立入試 類似)
1. 天武天皇による中央集権の強化 → 光明皇后による仏教保護と社会事業 → 藤原道長による摂関政治の全盛 → 白河上皇による院政の開始
2. 光明皇后による仏教保護と社会事業 → 天武天皇による中央集権の強化 → 白河上皇による院政の開始 → 藤原道長による摂関政治の全盛
3. 白河上皇による院政の開始 → 藤原道長による摂関政治の全盛 → 光明皇后による仏教保護と社会事業 → 天武天皇による中央集権の強化
4. 天武天皇による中央集権の強化 → 藤原道長による摂関政治の全盛 → 光明皇后による仏教保護と社会事業 → 白河上皇による院政の開始
- 問8 平安京における経済活動や「市（いち）」の仕組みについて述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 京都府公立入試 類似)
1. 貨幣経済を浸透させるため、和同開珎以外の貨幣を使用することが厳しく禁止された。
2. 座と呼ばれる同業者組合が結成され、政府の許可なく自由に商売を行うことが認められた。
3. 政府が設置した市司（いちのつかさ）という役所の監督のもとで、物品の価格や度量衡の管理が行われた。
4. 外国との貿易を促進するため、九州の大宰府から運ばれた輸入品を専門に扱う市場として発展した。
- 問9 平安時代中期に藤原道長や藤原頼通らが、長期にわたって強力な政治的権力を維持することができた理由として最も適切なものを、次のうちから1つ選びなさい。 (2026年 熊本県公立入試 類似)
1. 天皇の位を退いた後に上皇となって院政を行い、自ら開いた院庁から命令を出したから。
2. 自分の娘を天皇のきさきとし、その間に生まれた子どもを次の天皇に即位させることで、継続的に外戚の立場を保ったから。
3. 外国との貿易を独占して莫大な財政的基盤を築き、経済力によって政治を動かしたから。
4. 地方の武士団を直接組織し、強力な軍勢力を背景にして朝廷へ圧力をかけたから。
- 問10 平安時代の中期には、遣唐使の廃止などを背景として、日本の風土や生活に合わせた国風文化が発達しました。この時期、漢字を簡略化した「かな文字」を用いて紫式部によって執筆され、当時の華やかな貴族社会の様子を題材とした物語文学を選んでください。 (2016年 和歌山県公立入試 類似)
1. 万葉集
2. 源氏物語
3. 枕草子
4. 平家物語
- 問11 794年に遷都が行われ、それから約1000年にわたって日本の政治・文化の中心となった都の名称と、その遷都を断行した天皇の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2026年 富山県公立入試 類似)
1. 難波京 — 孝徳天皇
2. 平城京 — 聖武天皇
3. 藤原京 — 持統天皇
4. 平安京 — 桓武天皇
- 問12 平安時代の地方政治の混乱と、その後の歴史の展開について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 奈良県公立入試 類似)
1. 国司の不在を補うために、江戸時代の儒学者が提唱した道徳教育が地方の役人に浸透し、政治の腐敗が解消された。
2. 地方政治の混乱を収めるため、鎌倉幕府は各地域に二毛作を導入し、農業生産力を高めることで治安を安定させた。
3. 摂関家が直接地方へ赴き、牛馬を用いた耕作を奨励したことで、地方政治の乱れは速やかに沈静化した。
4. 国司が任地に行かず統治が緩んだため、地方の豪族や有力な農民が自衛のために武装し、武士の集団が形成された。
- 問13 平安時代初期、桓武天皇から軍の最高指揮官である「征夷大將軍」に任命され、東北地方で朝廷に抵抗していた蝦夷（えみし）を服属させた人物は誰ですか。 (2026年 滋賀県公立入試 類似)
1. 坂上田村麻呂
2. 阿部比羅夫
3. 源頼朝
4. 平清盛